

みずほCustomer Desk Report 2025/04/11号(As of 2025/04/10)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	146.98
TKY 9:00AM	147.41	1.0953	161.49	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	147.71	1.1241	162.56	1.2825	0.6133
SYD-NY Low	144.00	1.0943	161.02	1.2996	0.6250
NY 5:00 PM	144.43	1.1200	161.95	1.2818	0.6117
				1.2968	0.6226
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	39,593.66	▲ 1,014.79	日本2年債	0.6700%	0.0600%
NASDAQ	16,387.31	▲ 737.66	日本10年債	1.3700%	0.1000%
S&P	5,268.05	▲ 188.85	米国2年債	3.8589%	▲0.0509%
日経平均	34,609.00	2,894.97	米国5年債	4.0699%	0.0237%
TOPIX	2,539.40	190.07	米国10年債	4.4239%	0.0992%
シカゴ日経先物	33,400.00	▲ 1,600.00	独10年債	2.5815%	0.0020%
ロンドンFT	7,913.25	233.77	英10年債	4.6460%	▲0.1425%
DAX	20,562.73	891.85	豪10年債	4.2590%	▲0.1030%
ハンセン指数	20,681.78	417.29	USDJPY 1M Vol	13.97%	1.72%
上海総合	3,223.64	36.83	USDJPY 3M Vol	12.91%	1.58%
NY金	3,177.50	98.10	USDJPY 6M Vol	12.00%	1.20%
WTI	60.07	▲ 2.28	USDJPY 1M 25RR	▲3.00%	Yen Call Over
CRB指数	285.13	▲ 2.92	EURJPY 3M Vol	11.99%	1.54%
ドルインデックス	100.87	▲ 2.03	EURJPY 6M Vol	11.60%	1.25%

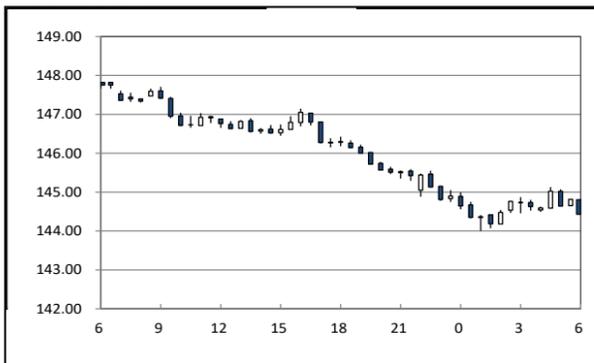
【昨日の指標等】

Date	Time	中	Event	結果	予想
4月10日	10:30	中	PPI(前年比)	3月 -2.5%	-2.3%
	10:30	中	CPI(前年比)	3月 -0.1%	0.0%
	21:30	米	CPI(前月比/前年比)	3月 -0.1%/2.4%	0.1%/2.5%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	5-Apr 223k	223k

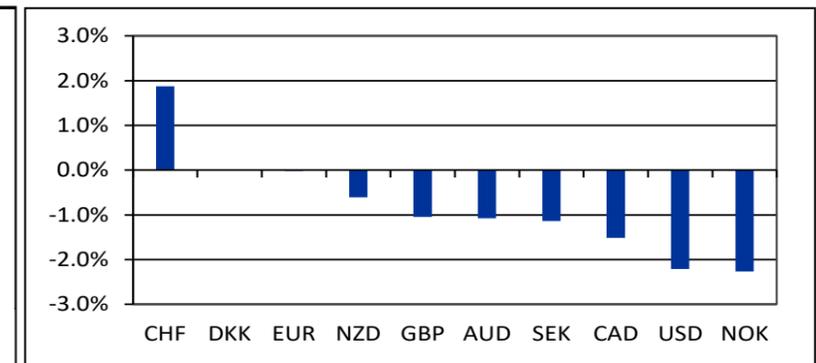
【本日の予定】

Date	Time	英	独	Event	予想	前回
4月11日	15:00	英		鉱工業生産(前月比/前年比)	2月 0.1%/-2.3%	-0.9%/-1.5%
	15:00	独		CPI(前月比/前年比)・確報	3月 0.3%/2.2%	0.3%/2.2%
	15:00	英		製造業生産(前月比/前年比)	2月 0.2%/-2.2%	-1.1%/-1.5%
	21:30	米		PPI(前月比/前年比)	3月 0.2%/3.3%	0%/3.2%
	23:00	米		ミシガン大学消費者マインド・速報	4月 53.5	57

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	143.00-145.00	1.1050-1.1300	160.00-163.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は一昨日の上昇から一転、値を切り下げる展開。米相互関税の発動延期を受けて進んだ上昇は早々に一服。米3月CPIが予想を下回り、トランプ米大統領が中国からの輸入品に対する関税が少なくとも145%に達すると発表すると、ドル売りに拍車がかかり、144.00をつけた。本日のドル円は上値重い推移を予想する。中国は関税政策に対して強い反発を示し米中の貿易を巡る対立は、長期化の様相を呈している。中国が被る関税による損害は経済的結びつきの強いユーロ諸国やオーストラリア、日本にも少なからず波及すると考える。とすると、為替相場でも世界的にリスクオフムードが蔓延し、円高方向への一因となるだろう。本日も引き続き、関税関連のヘッドラインは注視したい。

東京	東京時間のドル円は147.41レベルでオープン。米関税政策への不透明感から円買いが進みドル円は146円台後半に下落。その後は日経平均株価が高値圏でもみ合う展開を横目に小幅に推移。中国が米国からの全ての輸入品に対して84%の追加関税を発動した事を受けて、ドル円は146.50付近まで続落したが小幅に反発し、結局146.80レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、146.80レベルでオープン。米関税の90日間一時停止を受けて上昇していたドルが米債券利回りの低下を伴って売り戻され、145.54レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0979レベルでオープン。上述の米関税報道を受けてリスクオンとなり、欧州株が全体的に上昇する中、1.1088まで堅調に推移し、結局1.1070レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は、朝方に発表された米3月CPIが予想を下回った事に加えて、トランプ米大統領が対中国からの輸入品に対し145%の関税を賦課するとの発表を受け、軟調な値動きとなり144.00まで大幅下落。午後はトランプ米大統領が中国との関税案の先行きを巡り合意を望むとの発言を受け、一時145.10付近まで戻すも、その後再度失速し、144.43レベルでクロス。一方、NY市場のユーロドルは予想より減速した米3月CPIや、米政権が対中国への輸入品に対し145%の関税賦課発表を背景とした景気減速懸念が嫌気され、ドル売り地合いから底堅く推移し、1.1230付近まで上伸。午後ユーロ高の展開が続き、1.1241まで上値を伸ばす。その後はドル売り一巡となり、1.1200レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。